



No. 246

令和2年4月21日

編集：区議会だより編集委員会

発行：千代田区議会

〒102 - 8688 千代田区九段南 1-2-1

☎ 03-5211-4297（直通）

ファクシミリ 03-3288-5920



一般社団法人 千代田区観光協会 第4回東京大回廊写真コンテスト入選作品「春爛漫」 Chong Joon Keong

トップニュース

Top News

令和2年度千代田区一般会計予算を可決

- 総額は646億2,576万7千円で、前年度当初予算に比べ、6.9%、41億4,383万3千円の増額となりました。（詳細は8ページをご覧ください。）

新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書2件（国・都あて）を可決

- 新型コロナウイルスによる感染症が国際的な脅威となっていることから、国民の安全安心の確保を最優先に、感染症対策を更に推進するための具体的な措置を講ずるよう、国会と政府及び都に求める意見書を、全会一致で可決しました。（詳細は9・10ページをご覧ください。）

企画総務委員会に100条調査権を委任 区長の事業協力者住戸マンションの購入について

- 地方自治法第98条第1項及び同法第100条第1項に基づき、区議会が調査することを求める決議を可決しました。（詳細は10ページをご覧ください。）

主な内容

- 代表質問 2 面
- 一般質問 3 ～ 5 面
- 定例区議会活動報告等 6 ～ 8 面
- 本会議で可決した意見書等 9 ～ 11 面
- 議案の審議結果等 12 面

提案された議案等

◆区長提出議案

- ・ 予算 5 件
- ・ 条例等 15 件
- ・ 契約 5 件
- ・ 人事 2 件
- ・ 報告 1 件

◆議員提出議案

- ・ 条例 1 件
- ・ 意見書 3 件
- ・ 決議 1 件



●ホームページアドレス

<https://gikai-chiyoda-tokyo.jp>



●メールアドレス

kugikai@city.chiyoda.lg.jp

●公式 Twitter

@Chiyoda_Kugikai

*区議会だよりは、新聞折込で配布しています。購読していない区内在住・区内事業者の方には郵送いたします。また、音声（CD）版、点字版も作成しています。区内在住でご希望の方は、区議会事務局 ☎5211-4297（直通）までご連絡ください。

区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、区議会の最新情報をお届けする「区議会公式Twitter」も発信していますのでぜひご利用ください。

令和2年第1回定例区議会

代表質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

千代田区議会 自由民主党



内田 直之

新型コロナウイルス感染症対策

問 感染症による影響としては、原材料調達等の供給停滞に始まる連鎖的影響やインバウンドの減少等、経済的影響が懸念される。区内中小企業や小規模事業者を対象とした区の支援策は。

答 国や都における支援情報を迅速に提供。また、商工融資あっせん制度に緊急経営支援特別資金を創設。感染症により経済的影響を受けた区内中小企業に、信用保証料補助等による低コストの資金調達手段を提供。



神田の地域特性を活かしたまちづくり

問 神田の歴史・伝統・個性を磨き、豊かなコミュニティの実現に向け、積極的に都市再生を進めるべき。見解は。

答 まちの将来像を地域で共有し、歴史や文化を継承した神田らしい都市再生について地域と議論しながら進める。

公共用地の有効活用策について

問 現在取得交渉中の旧九段坂病院跡地の最適な用途を議会と検討すると同時に、低未利用区有施設についても、その活用も含めた方針を策定すべき。

答 現在、取得に向けた本格交渉にあたり土地鑑定評価の作業中。取得後の活用等は、議会との議論を経て方向性を定める。また低未利用区有施設については有効活用に向けた議論を深めていくことが区に求められていると認識。

日本共産党区議団



木村 正明

国民健康保険料の負担軽減を

問 国は、被災等の特定の事情を除き、国保料軽減のため公費を繰り入れる市町村の予算を減額する方針。特定事情として、子どもの均等割の一律免除を。

答 加入世帯に子どもがいることのみで、一律に行うものではないと認識。



都市計画・まちづくりの規制緩和

問 規制緩和による開発事業の巨大化は①東京一極集中による災害リスクの増大と二酸化炭素の増大による環境破壊につながり、抑制すべき②大企業への優遇で、労働賃金が増加していない。時代遅れ③地域の課題を住民や行政の双方で議論できる場の設置を。

答 ①規制緩和は都市の将来像の実現や課題解決の手段であり適切②規制と貢献のバランスを図り地域課題の解決手段として活用。時代遅れの認識はない③地域ごとに公聴会を開催する予定。

(仮称) 四番町公共施設整備について

問 ①借地借家法が適用される任意建て替えには強制力がない。合意のない居住使用許可取り消しの根拠は②仮住まいとして希望に沿う公的住宅を。

答 ①公営住宅法に明け渡しに関する定めがないため、区の要綱に基づき明け渡しを請求する予定。協力が得られるよう努める②居住者の意向を踏まえ住居確保に取り組む。

公明党議員団



米田 かずや

新型コロナウイルス対策について

問 政府や都は中小企業や小規模事業者へ運転資金を特別に融資する等の支援策を打ち出している①区として支援策の活用をサポートする相談窓口を設置すべき②区独自の支援策を。

答 ①経済的支援策を一元的に提供する特別経営相談窓口を設置した②経済的影響を受けた区内中小企業を対象にした緊急経営支援特別資金を創設する。

キャッシュレス決済について

問 行政機関でも支払方法の多様化が進んでおり、既に実施済みの自治体では税金や保険料の収納率等が向上したという。本区でも税金や給食費等に電子マネーやクレジットカードを利用可能にしてみては。

答 手段の選択や安全面への対策、運用コストの課題にも留意し、今後の活用方策について検討を進める。

ICT教育について

問 今後の学習活動で積極的にICTを活用することが想定されている。本区では小中学校1校につき200台程度タブレット型PCを配備し活用しているが、子ども1人1台ずつの配備や5G対応可能な高速LANの校内設備を進めるべき。

答 通信環境について課題があると認識。国や都の予算活用も考えつつ学校教育におけるICT環境整備を進める。



令和2年第1回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

永田 壮一

(自民)



区民の健康と健康診断の有効性

問 健康診断は予防医療に効果的でも一律での実施には疑問がある。本質的な区民の健康促進を考えるべき①どの医療機関でも対応できる検査項目とすることで健診率が向上するのでは②医療被ばくリスク、初期の肺がん発見には効果的ではない胸部X線検査を希望者のみの受診としてはどうか。

答 ①科学的根拠に基づく検査項目を高い精度で実施することと受診率の向上が健康促進につながると考える②胸部X線検査は肺がんと高齢者で罹患率の高い結核の検診も兼ねるため、年に1回の受診は必要と考える。



大串 ひろやす

(公明)



2050年CO₂排出実質ゼロへ！

問 京都議定書のスタートに合わせ2007年、区はCO₂排出削減の具体的目標を明記した「千代田区地球温暖化対策条例」を制定し、その対策を推進することとした。議会の議決を伴う条例として示したことは評価する。本年からはパリ協定の枠組が新たにスタートする①2050年までにCO₂排出実質ゼロを目指すゼロエミッションを宣言してはどうか②子どもや若者からの意見や提案を温暖化対策に生かすため、今後継続的に仮称「千代田区温暖化対策子ども・若者会議」を開催してはどうか。

答 ①将来あるべき姿として2050年にCO₂排出実質ゼロという目標を掲げていく。また、裏付けのある中期的な目標も設定していく②次世代を担う人々の意見を聞くことは有意義である。指摘の趣旨を踏まえ検討する。

河合 良郎

(自民)



ハトなど鳥のフン対策について

問 私有地での餌やりによりハト等が集まり、フン尿被害が発生。私有地での餌やりに対し改善措置を命じることができるよう生活環境条例の改正検討を。

答 モラルに訴えて改善を図るべき課題であり、現地調査で事実確認し、保健所や公害指導担当と連携して対応。

ハチの巣駆除対策について

問 スズメバチは猛毒を持ち人間への攻撃性が高い。巣駆除は危険性を伴うため、区で無料実施してはどうか。

答 原則その場所の所有者が対応するもの。私有地内の駆除に対する助成制度は、他区の状況を踏まえて研究する。



山田 丈夫

(自民)



東京2020大会に向けた取り組み

問 ①東京2020大会を契機として次代を担う子どもたちに教育的レガシーを残すべき。これまでの取り組みと今後の展開は②大会期間中は国内外の人が大勢集まり、感染症の発生リスクが高まる。感染症に対する予防策や発生した場合の対応策は。

答 ①区立校・園ではアスリートを招いた競技体験や講演会等を実施。区内で開催される競技を観戦予定②都内保健所では大会に向けた感染症対策の手引きが共有され、検査や医療提供体制、情報共有の仕組み等が整備されている。引き続き、関係機関と緊密に連携し、感染症対策を実施。



飯島 和子

(共産)



介護をめぐる課題について

問 介護者の多くが身体や心の不調を抱えている。区は様々な悩みや不安に応じる窓口を設置するだけでなく、家族介護の実態把握と手を差し伸べる体制を強化・拡充せよ。

答 医療や介護に関わる様々な関係者が連携し、介護者等の異変に気付いた場合に出張所や高齢者あんしんセンター等に繋げ、対応できるよう連携ネットワークの構築、強化に努めている。

マンション建替え時の仮住居確保

問 老朽化による建替え工事期間中、都は仮住居として都営住宅あっせんの支援を行っている。本区でも支援を。

答 本区では区営や区民住宅の数少ない空き住戸を住宅困窮者の方々に貸すことがより優先度が高いと考えている。建替えに伴う仮住宅として公的住宅を貸すことは非常に難しい。

令和2年第1回定例区議会

一般質問 (要旨)

議員紹介はこちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

牛尾 こうじろう (共産)

子どもの歯科矯正への補助について

- 問** 歯のかみ合わせは子どもの成長や健康に影響することが指摘されているが、歯科矯正による治療は保険適用外で高額。補助制度の創設を求める。
- 答** 子どもの歯磨き教室等で口腔機能の健全な発達を促している。歯科矯正はかみ合わせを改善する機能回復と歯並びをきれいにする審美的要素があり、疾病・負傷以外は原則保険適用外。補助制度は今後の研究課題。

安心できる保育現場のために

- 問** 昨年の職員定数条例改正以降、区立保育園における正規保育士の職員数の現状は。また、栄養士や看護師についても正規職員による運営を。
- 答** 正規保育士は国や都の基準以上の人数を配置しており、来年度は今年度より10人増員予定。看護師、栄養士は現状で問題ないとする。



うがい 友義 (自民)

商業エリアにおけるネズミ対策

- 問** 東京2020大会期間中は国内外から多くの来街者が見込まれる。商店街や飲食店エリアにおける①ネズミ対策は②ごみ捨てマナーや客引き対策等、来街者受け入れに向けた取り組みを問う。
- 答** ①個別相談には殺鼠剤等を配付。地域全体で対策が必要な場合、周辺地域の生息調査を実施し、通路の遮断や巣の破壊等の手法を組み合わせで対応。近年ネズミに関する相談が増えており、関係部署によるネズミ対策ワーキンググループで密な情報交換を行っている②昨年、魅力あるまちを目指して商店街と協定を締結。商店街によるごみ出しルールの見直し等で環境美化が図られ、地域団体による路上看板や客引き行為のパトロールで周辺環境の改善が図られている。こうした地域主体の地道な取り組みを今後も継続できるよう、環境整備に側面から支援する。

西岡 めぐみ (自民)

子育て施策

- 問** ①本区の病後児保育室事業は前日までの予約が必要。当日予約も受入れ可能にし、医師や土地の確保が困難であれば小児科併設型の保育の場を設けるべき②宿泊型産後ケアは出産直後の母親と乳児が同部屋で看護師から育児指導等が24時間体制で受けられニーズが向上中。本区の事業拡充の予定は。
- 答** ①協力医療機関の敷地や建物内に保育室を開設し小児科医と看護師を派遣する業務形態で協議中。当日申込み可能とする制度変更も、実現に向け鋭意検討する②必要な方がより利用しやすいよう要件の一部を見直す等、来年度の利用促進に向けて準備中。



池田 とものり (自民)

まちの美化意識の向上について

- 問** 東京2020大会期間中のゴミの収集時間変更を機に、環境を見据えたごみ処理、まちの美化意識向上を図るべき。
- 答** 町会長等で構成される清掃協力会等、区民と意見交換し、まちの美化意識の向上につながるごみ処理について検討していく。

外濠公園グラウンドの整備について

- 問** 本グラウンドは都心の限られた貴重な屋外スポーツ施設。通年利用の実現に向け、今後の整備計画について問う。
- 答** 来年度、土壌調査を実施。どのような整備が可能か調査・検討を行い、通年利用に繋がる整備に向け取り組む。



岩佐 りょう子 (立憲)

子どもの読書活動推進

- 問** 読書活動推進のため①web図書館の児童書の増冊や選択画面の改善を②学級文庫の充実や、近距離で受取・返却が可能な地域文庫の設置を。
- 答** ①改善に取り組む②学級文庫の充実化に努め、児童館等へリサイクル本を提供する取組み等をさらに進める。

工事中を魅せるまちづくり

- 問** 工事現場も都市景観の一部として配慮が必要。区や民間の工事現場で、デザイン性の高い仮囲いを活用する等、生活環境に配慮した景観形成の誘導を。
- 答** 課題もあるが、検討を進める。



令和2年第1回定例区議会

一般質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

長谷川 みえこ (紡ぐ会)



避難所の災害備蓄品の管理

問 本区では期限切れの紙おむつは基本的に廃棄と聞く。入れ替えが必要な備蓄品を有効に区民に還元する仕組みはできているのか。

答 平成22年に再活用不可の9箱を廃棄したがその後は無い。該当する備蓄品は関係機関へ提供し、再活用に努めている。

避難所における危機管理

問 ①現状、避難所にはマスクの備蓄がない。災害時の感染症対策は②子や女性への性被害防止の取組みを問う。

答 ①接触や飛沫感染等を感染経路とする感染症対策の基本は手洗い。避難所には断水時用にタンク式手洗い器やアルコール消毒液を配備済②各避難所に女性支援班を設置。子や女性の安全に配慮した環境の確保や相談窓口の開設といった役割を果たしている。

小野 なりこ (都ファ)



区内AEDの活用による共助力向上

問 AEDによる救命処置は救命率を格段に高めるが、全国の使用率は4.9%と低い①ファミリー層を含む多様な世代の訓練や講習の参加率向上を②設置情報を確認できる既存の情報サービスと連携し、AED情報の共有化を。

答 ①託児ルームの設置や保育士等を派遣し、乳幼児の保護者や小学生対象の講座、地域防災訓練への参加を促している②AED設置場所や詳細な情報を地図上で確認できるアプリ「AED N@VI」を活用し、普及啓発を図る。

無料歯科検診で健康をより身近に

問 無料歯科検診の受診率向上のため、検診とあわせて歯石除去や歯磨き指導を行うキャンペーンの実施を。

答 いずれも医療保険の対象であり、かかりつけ歯科医の治療計画に基づいて実施されることが望ましいと考える。

小枝 すみ子 (声)



(仮称) 四番町公共施設整備について

問 ①(仮称) 麴町仮住宅と永田町駅間の地下通路工事は、東京メトロと文書を交わさず行っている。費用負担の内訳は②区営アパートは住人の多数が介護医療が必要な高齢者であり、その多くが工事に異議を唱える中、工事を強行するのか③工事費が当初案の約2倍。原因を区民に説明すべき。

答 ①可能な限り早期に提示する②最終的には訴訟という方法も考えられるが、理解いただけるよう誠意をもって対応する③アスベスト除去を含む解体等の工期延長等によるもの。計画変更の場合は、今後とも議会に随時報告し近隣住民等にも丁寧に対応していく。

「二棟一括建て替え」のメリットと、区が説明していたこと

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 工費が短い | ⇒ 長びく |
| 2. 経費が安い | ⇒ 高い |
| 3. 子どもたちの負担軽減 | ⇒ 仮園舎期間3倍 |
| 4. 居住者負担が少ない | ⇒ 遠隔地で4年の仮住まい |

嶋崎 秀彦 (自民)



がん検診の充実について

問 がん患者の尿に反応する微生物を活用した新たな検査方法が開発された。検査は尿1滴、費用は1万円弱と画期的。本区の検診に追加導入しては。

答 新たな検査の科学的根拠は、多くの検証が必要と考えている。手軽な検査が受診率向上に寄与することも期待されることから、今後も注視していく。

麴町地域のまちづくりについて

問 ①番町・麴町は文化交流機能を充実させ、かつてのまちの魅力を回復させる必要がある②駐車場附置義務で建物の低層部が駐車場となり「顔が見えないまち並み」が散見される。駐車場の適正配置に関する区の見解は。

答 ①マスタープランの地域別構想を見直し、地域にふさわしい文化・交流機能のあり方等を検討②実態調査し、所管する都と検討していく。

岩田 かずひと (立民)



高層建築物の功罪について

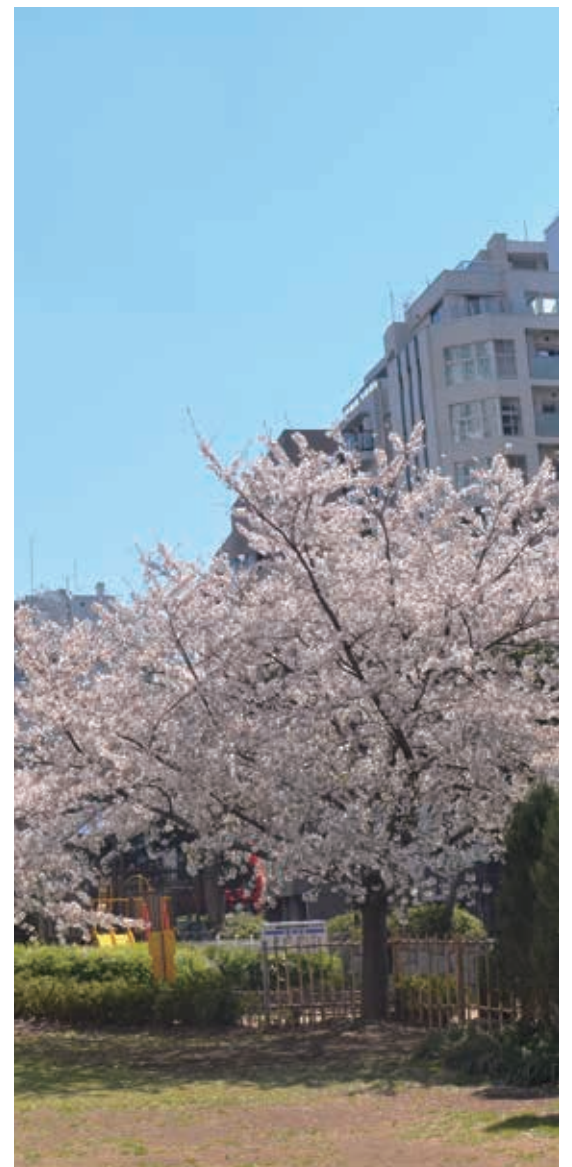
問 高層ビル建設と引き換えに広場ができイベント等の喧騒が予想される。環境悪化による地域ブランドが失われることについての区の見解は。

答 現在、カフェと一体となったオープンスペースが暫定的に開放され、地域の方が快適に過ごしている。地域に必要な空間と感じている。

避難所運営について

問 感染症がまん延した状況で地震等の大規模災害が起きた場合の①避難所の対応は②災害時退避場所の対応は。

答 ①手洗いや咳エチケットの励行の喚起等、様々な対策を図る②感染リスクの低い屋外であるが、多くの人が殺到する可能性があり、咳エチケットの注意喚起等を図り、帰宅困難者等一時受け入れ施設の開設状況等、地域の情報提供を行う。



令和2年第1回定例区議会

定例区議会活動報告

常任委員会



常任委員会では、区長提出議案18件及び議員提出議案1件を審査しました。
議案の審査経過をご紹介します。なお、審議結果は12ページをご覧ください。

企画総務委員会

議案12件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。
「(仮称)四番町公共施設新築工事請負契約について」ほか3件は、当該工事に関する請負契約を締結するため議会の議決に付すものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、4件の契約議案の中で電気設備工事の落札率が低かった原因については、他の3件の工事に比べて手間賃の割合が高く、その部分を低く抑えることができたためと考えられること、今後も当該居住者の方々に対して丁寧に対応し、他の区営住宅の建て替えにとっても良い事例としていきたいと区が考えていること等が明らかになりました。

〈討論〉

【反対の意見】

計画が二転三転し、正当性のない安易な建替え発想に基づいて立ち退きを求めることは、居住者の住まいの人権を脅かす暴挙である。また、総費用が増大することやスケジュールが延長されることが明白である。さらに、本年10月末までに転居する意思がなく、反対と表明している居住者が3分の1に及ぶという状況となっている。今回の契約議案を議決し、契約へと進めばその間工事を中止することとなり、損失補償という公費の無駄が発生することがわかっていながら押し通すことは、「子どもたちのために」と言っている大人の判断とは思えないため、反対する。(小枝)

区の示した最高裁判例は、賃借人が資産を持ったことにより、公営住宅の入居資格がなくなったことに対する解約申し入れの事例であり、本件の事案とは事実背景が全く異なるため、当該判例は区の主張の根拠になりえない。また、多くの住民の意思を尊重していないことから、反対する。(岩田)

区が実施した居住者の意向調査結果から、合意形成が不十分なまま区が強引に計画を進めようとしていること、任意建替事業の判例から、前例のないことを区がしようとしていること、公共施設は区民の共有財産であるにもかかわらず、何よりも区民との合意形成を大事にしていないことが明らかとなった。また、法定建て替えの時期を迎えていないにもかかわらず区が強引に建て替えることは、財政規律を見失った税金の使い方であり、効率的な財政運営の原則に照らし合わせても問題である。さらに、複合施設の大型化は、数十年先を見据

えた場合に、その世代の住民に大きな負担を課すことになりかねない。よって、反対する。(木村)

【賛成の意見】

子育ての場として高まるニーズに十分対応できていないという保育園及び児童館の課題、施設の機能の有効性、老朽化への解決策として、今回の2棟一体型の施設整備は、行政需要を十分にとらえたものであると判断した。一方で、四番町アパートの住民のうち仮住宅等への転居に反対している住民に対して、今後も区が適切かつ十分な理解を得る努力をしていくとの答弁があった。今後高まる区民ニーズに対して、区民の福祉の向上に応えるために、新たな施設の機能を十分に活用するとともに、施設の維持管理を通じ老朽化などへの対応に努めていくことを区に求め、賛成する。(桜井)

その他「職員等公益通報条例の一部を改正する条例」ほか6条例、「財産(建物)の取得について」を審査しました。

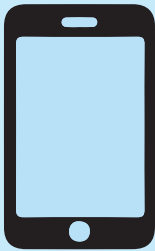
インターネットで本会議を視聴できます

千代田区議会HPの「インターネット中継」で本会議の「生中継」及び「録画中継」が視聴可能です。録画中継では日程や、議員の名前ごとに選択可能となっています。下の2次元コードや区議会HPから、ご視聴下さい。



本会議を文字(字幕)配信しています

インターネット中継の音声聞こえづらい方のため、千代田区議会では本会議を文字(字幕)でライブ配信しており、区議会ホームページからご覧いただけます。スマートフォン等からは、右の2次元コードよりアクセスできますので、ご利用ください。



令和2年第1回定例区議会

定例区議会活動報告

常任委員会



地域文教委員会

議案3件の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区印鑑条例の一部を改正する条例」は、関係法令の施行に伴い、印鑑登録を受けようとする者の意思能力の有無に応じて、印鑑登録の可否を判断するよう、登録資格に関する規定を改めるものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、成年被後見人が法定代理人と同行して窓口に申請に来た場合に、一定の意思能力があるとみなし、印鑑登録ができるようになること等が明らかになりました。

「千代田区家庭的保育事業等の認可に係る設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」は、国が定める基準の一部改正に伴い、家庭的保育事業等のうち特定の事業について、連携施設の確保義務を緩和するとともに、食事の提供及び連携施設の確保に係る経過措置期間を5年から10年に延長するものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、小規模な家庭的保育事業では食事の提供や連携施設の確保が難しいこと、2歳まで保育を受けた区民の子どもは、3歳になった時点で、最優先で他の園に転園できるようになっていること等が明らかになりました。

〈討論〉

【賛成の意見】

食事の提供の要望が出た際には、事業者と話し合い、しっかりと対策をとることを求め、賛成する。(牛尾)

経過措置期間を5年延長しないと、千代田区で行われている家庭的保育事業は条例違反になってしまうため、きちんと対応できるよう検証することを求め、賛成する。(たかざわ)

「幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例」は、関係法令の一部改正に伴い、幼稚園教育職員が行う業務量の適切な管理等について規定するものです。

〈審査経過〉

幼稚園教育職員の労働時間は、ICカードにより管理、把握がされていること、持ち帰り業務については、本来、行わないことが原則であることを踏まえ、国の指針に則った上で働き方改革や職場の課題解決を進めていきたいと教育委員会が考えていること等が明らかになりました。

保健福祉委員会

議案4件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「議案第13号 千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例」は、均等割額、保険料率ともに据え置き、賦課限度額と均等割軽減の対象者を拡大するものです。

〈討論〉

【賛成の意見】

他の被用者保険に比べ負担感が大きいのが、区独自の工夫を行う姿勢が明確であるため、賛成する。(飯島)

区があらゆる方法を駆使し、保険料上昇を抑える姿勢を確認したので、賛成する。(大串)

「東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について」は、後期高齢者医療の保険料軽減のため、関係区市町村の一般財源からの負担を求めるものです。

〈討論〉

【反対の意見】

保険料は上がり年金支給額は減っていく。その中での負担増ということであり、反対する。(飯島)

【賛成の意見】

本件は千代田区だけでなく都全体の話。広域的仕組みでやっていくべきであり、賛成する。(嶋崎)

「議員提出議案第1号 千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例」は、子に係る保険料の被保険者均等割額を免除するため、条例を整備するものです。

〈討論〉

【反対の意見】

国の制度設計で改善していくべきと考え、反対する。(山田)

子どもの人数や所得制限が一切なく、また、地方や被災地との不公平感を生むと感じ、反対する。(岩佐)

現行制度の中で、区において子どもの均等割をなくすことは、公平性が保てるのか判断しづらく、反対する。(大串)

【賛成の意見】

国保は均等割自体を見直すべき。まずは子どもの均等割を廃止する議案であり、子育て支援の面から賛成する。(飯島)

子育て支援の観点から賛成する。(長谷川)



特別委員会



今定例会中のオリンピック・パラリンピック対策特別委員会、景観・まちづくり特別委員会、災害時要配慮者等対策特別委員会、文化財保存・活用特別委員会の4特別委員会は、新型コロナウイルス対策を考慮し会期を短縮したことに伴い、所管調査を行わず、閉会中でも各特別委員会が継続調査できるよう議長に申し入れて閉会しました。

令和2年度 予算審査から

令和2年度当初予算4議案及び令和元年度補正予算1議案は、全議員で構成する予算特別委員会を設置し、審査しました。委員会では、まず補正予算として、お茶の水橋補修補強工事に関する債務負担行為の追加等を審査し、賛成全員で可決しました。当初予算は、概要説明を受けたのち、企画総務、地域文教、保健福祉の3つの分科会を設置し、それぞれ所管部分の詳細な調査を行いました。分科会の調査報告を受け、総括質疑、意見発表を終え採決に入ったところ、当初予算4議案は賛成全員または賛成多数でいずれも可決しました。

〈当初予算に対する討論〉 【反対の意見】

一般会計予算は、第1の理由として区長の三番町高級マンションの所有問題で区民への疑惑を広げただけでなく、区政への信頼を一気におとしめた。第2の理由として、来年度も一極集中を加速する流れが継続している。第3の理由として、(仮称)四番町公共施設の建替えにみられる財政規範を見失った強引な区政運営であることから反対する。(牛尾)

まちづくり、開発関係でその公平性や信頼性が激しく揺らぐ中、来年度予算は賛否が問われている。消費税増税、新型コロナによる不況は区民生活に大打撃を与え税収は落ち込む。区民の目が厳しい中、四番町公共施設は計画通り進捗していないのにも関わらず予算計上し、更なる支出増も明らか。緊急を要する新型コロナ対策、災害対策、民間建物の強じん化等にシフトすることを求め、一般会計予算に反対する。(小枝)

総括質疑の中で、ニュースで放映されたマンション購入の件に関して区長から発言があったが、とても疑念が晴れるようなものではなかった。本件は他の場でさらに議論するが、その他の件についても多くの不審な点がある。職員の苦労には感謝するが、このままでは区民に顔向けできないことにより一般会計予算に反対する。(岩田)

【賛成の意見】

予算編成にあたって、国の税制改正や社会経済状況が不透明な中、将来も継続して安定的な行政サービスを提供できるよう中長期的な視点からの事業推移や今後10年間の財政状況の見通し等が示され、評価する。また、病児保育室の整備や高齢者へのフレイル対策事業等、区民ニーズを的確に捉えた予算であり、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めることを改めて執行機関に求め、賛成する。(桜井)

令和2年度一般会計予算は、防災対策や温暖化対策、子ども施策を中心に区民の命と健康を守り、生活の質を確保するため過去最高の積極的な予算となり評価する。具体的には病児保育室事業、子どもの予防接種、難聴者補聴器購入費助成、子ど

もの権利擁護に関する調査、防災ラジオ配付等が評価できる。予算執行にあたっては、区民の皆様とともに築くという姿勢を堅持し行うことを要望し、賛成する。(米田)

本区の人口は増加傾向にあり、人口構成や世帯構成に応じた行政サービスの提供を継続していくことが求められている。令和2年度予算編成は既存事業の見直しや再構築を行い、民間開放やICT技術の活用を検討していく考えが示された。来年度は恣意的な人事登用を排除し、持てる力を発揮できる人材育成や組織づくりを推進することを期待し、各会計予算に賛成する。(山田)

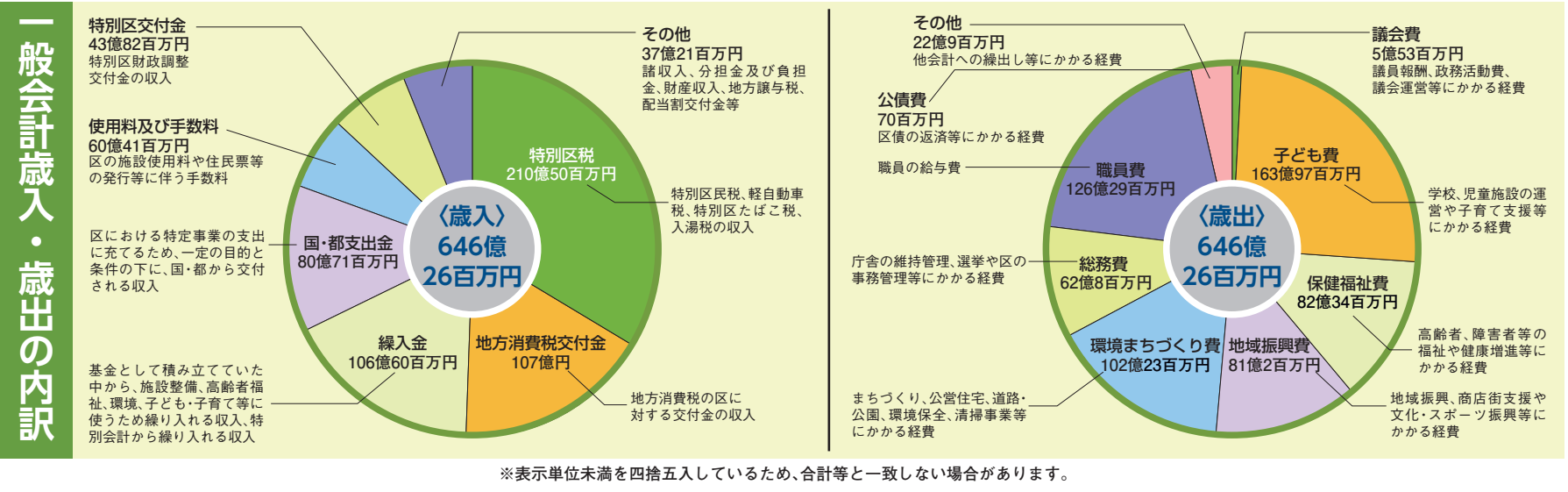
本予算はフレイルや引きこもり等様々な顕在化している問題の対応も視野に入れた予算となっていることは評価する。緊急事態ともいえる新型コロナウイルス対策への個別の予算はないが、刻々と変わる状況に柔軟な対応で住民の安全・安心をしっかりと守っていただくことを求め、賛成する。(岩佐)

現在、新型コロナウイルスにより千代田区全体が対応に追われているが、来年度も区民が安心して暮らせるよう福祉と子どもの支援の充実や災害対策の推進を望む。高齢者施策でフレイルチェック事業や予防講座など健康年齢を引き上げる取組みは、高齢者の更なる活躍が見込めて評価する。区長のマンション購入の報道については区民への納得できる説明を求め、新年度予算に賛成する。(長谷川)

予算編成では先を見据えた人材育成で必要な具体が高い執行率で推進されることを期待する。また、学生は今回の休校措置で学習機会が途絶え、万一の時も学び続けられる仕組みの早期整備を願う。予算は新型コロナ対策で今後さらに必要になる可能性がある。流動的な状況下で、行政サービスを遂行するには区民の信頼を得ることが大切である。信頼に値する姿勢を今後の行政の中で示すことを求め、賛成する。(小野)

各会計予算の規模 (単位：百万円)

会 計 名	令和2年度	令和元年度	増(△)減額	増(△)減率
一 般 会 計	64,626	60,482	4,144	6.9%
国民健康保険事業会計	5,726	5,521	205	3.7%
介護保険特別会計	4,317	4,323	△ 6	△ 0.1%
後期高齢者医療特別会計	1,859	1,754	105	6.0%
全 会 計 合 計	76,527	72,080	4,447	6.2%





本会議における討論(要旨)

今定例区議会では次の6件の議案を採決するにあたり、討論がありました。その要旨をご紹介します。

1. 議案第18号 (仮称) 四番町公共施設新築工事請負契約について **可決**
2. 議案第19号 (仮称) 四番町公共施設新築電気設備工事請負契約について **可決**
3. 議案第20号 (仮称) 四番町公共施設新築空調設備工事請負契約について **可決**
4. 議案第21号 (仮称) 四番町公共施設新築給排水衛生設備工事請負契約について **可決**

【反対の意見】

第一に、住民合意が不十分なまま計画を推し進めようとしていること。築年数が30年余りで建替えの必要性が無く、居住者の3分の1が計画に不同意を表明している。第二に税金の使い方である。長寿命化計画に沿って2億円を使用し、改修工事を済ませたにも関わらず、その直後に建て替えるとした方向転換は居住者に大きな怒りをもたらした。財政規律を見失っていると指摘せざるを得ない。よって反対する。(飯島)

【賛成の意見】

区は、(仮称) 区立麴町仮住宅等への転居に反対する四番町アパートの住民に対し、十分な居住者理解を得る努力をするとの答弁があった。四番町保育園・児童館は早期に整備が求められていること、今後、住民が転居先の仮住宅と現四番町に分かれることはコミュニティを壊し、更なる財政負担が生じることから、執行機関が今後もこれまで以上に居住者理解への努力を続けることを求め本議案に賛成する。(嶋崎)

5. 議員提出議案第3号 国民健康保険料の子どもに係る均等割保険料の軽減を求める意見書 **否決**

【反対の意見】

均等割には低所得者対策として軽減制度が設けられており国庫負担と区の一般財源で賄っている。所得に関わらず子どもの均等割を軽減することは経済的に厳しい状況にある高齢者、被災者等との均衡を失し公平性に問題が生じる。また、実施するための財源を一般会計からの繰入金に求めることは、本区が様々な工夫を重ねて保険料の上昇を抑えつつも法定外繰入を縮減している努力に反するため反対する。(うがい)

【賛成の意見】

所得の1割を占める国保保険料の負担軽減が切実に求められており、なかでも均等割の軽減が急務である。会社員等が加入する被用者保険は扶養する子どもの人数で保険料が変わらないが、国保料は世帯内の全ての被保険者に同額の均等割額が賦課されるため、子どもが多い世帯ほど負担が大きくなる。医療保険制度間の公平をはかるとともに、子育て世代の経済的負担の軽減のため、本意見書に賛成する。(牛尾)

6. 議員提出議案第1号 千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例 **否決**

【反対の意見】

国保制度では所得が少ない加入者の均等割を7割、5割、2割減免するとし、加入世帯の37%が適用を受けている。来

年度の制度改正により、その対象者は増える見込みである。子どもがいる世帯の均等割の一律軽減は相互扶助の視点を欠き、また、一般財源の投入は、公平性を損なうものである。さらに、一般財源の繰入額削減に取り組んできた区の評価を低くするものであり、本議案に反対する。(池田)



可決した意見書

新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書(国あて)

中華人民共和国湖北省武漢市で昨年12月に確認された新型コロナウイルスによる感染症は、世界中に急速に拡散し、世界保健機関(WHO)が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言するなど、国際的な脅威となっています。

国内においても感染者は日増しに増加し、状況は刻々と変化しています。

国は、2月25日新型コロナウイルス感染症対策を更に進めるため、「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」を策定したところであり、この方針に沿って、国や地方自治体、医療関係者、事業者、そして国民が一体となって対策を更に進めていくことが求められています。

よって、本区議会は国会及び政府に対し、国民の安全安心の確保を最優先に、感染症対策をさらに推進するため、下記の事項について措置を講ずるよう強く要望します。

記

1. 国民が冷静に行動できるよう、具体的な感染予防の方法を周知徹底するとともに、デマ、風評被害を防ぐため、個人情報に配慮しながら、正確で詳細な情報提供を多言語・多様な方法により迅速に行うとともに、統一的な対応方針を提示すること。
2. 自宅待機者の重症化の兆しを見逃さないため、専門的かつ多言語・多様な方法による相談体制の充実を急ぐこと。
3. 診察及び検査が適切に行えるよう、検査機器、検査試薬、医療物資などの供給を増やし、官民の力を総動員して、国の責任で多言語で対応できる体制を拡充すること。
4. 患者の増加に備えた治療体制整備のための支援の充実を図り、院内感染対策の更なる徹底や感染制御のために必要な物資の提供を図ること。併せて搬送用車両や人員の調達を支援すること。
5. 風評被害対策に万全の対策を講じ、中小零細企業に対する緊急の融資を行うとともに、幅広く収入補償のための措置の充実を図ること。
6. 福祉施設での感染予防用品等の在庫不足に対し、供給が十分に行われるように対策を強化するとともに、休業による減収で運営困難とならないための支援と、施設利用者家族への支援を行うこと。
7. 学童保育、学校、その他の施設でのあらゆる児童生徒の居場所確保事業及び学校給食に代わる食事の提供事業に対する財政支援を行うとともに、児童生徒・保護者等のメンタルケアを講じること。

また、学校給食中止の影響を受ける事業者や生産者に対する特別の支援策を講じること。

8. 各地方自治体が実施する新型コロナウイルス感染症対策への財政支援を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣

新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書 (都あて)

中華人民共和国湖北省武漢市で昨年12月に確認された新型コロナウイルスによる感染症は、世界中に急速に拡散し、世界保健機関 (WHO) が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言するなど、国際的な脅威となっています。

国内においても感染者は日増しに増加するなど状況は刻々と変化しています。

東京都では、「東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を開催し、様々な対策を講じていること、また、厚生労働大臣あての緊急要望、国への働きかけなど、様々な対応をとられていることに敬意を表する一方で、今後更なる感染拡大防止対策の強化を推進するため、下記の事項について措置を講ずるよう強く要望します。

記

1. 区市町村との連携を密にし、デマや風評被害に対応するための正確で詳細な情報提供を多言語・多様な方法により迅速に行うこと。

また、多言語・多様な方法により、速やかに相談が受けられるよう相談体制の充実を図ること。

2. 患者の増加に備えた診察、検査、治療体制整備のための支援の充実を図り、院内感染対策の更なる徹底や感染制御のために必要な物資の提供を図ること。併せて搬送用車両や人員の調達を支援すること。

3. 中小零細企業に対する緊急融資に都が利子補給を行い、無利子にするとともに、既に利用している方が、融資についても返済困難となった場合は返済猶予等の救済策を行うこと。

また、国の収入補填のための措置が不十分な場合、都が追加で支援策を講じること。

4. 福祉施設での感染予防用品等の在庫不足に対し、供給が十分に行われるよう対策を強化するとともに施設利用者の利用休止や休業が原因となる減収で運営困難とならないための支援と影響を被る施設利用者家族への支援を行うこと。

千代田区議会災害対策支援本部 (新型コロナウイルス) を設置

新型コロナウイルス感染症対策のため、区が「健康危機管理対策本部」を設置したことを受け、区議会においても、令和2年2月28日「千代田区議会災害対策支援本部 (新型コロナウイルス)」を設置し、区民の相談・支援体制の強化等を求めた「新型コロナウイルス感染症に関する緊急申し入れ」を3月4、12、31日の3回にわたり、区に提出しました。



5. 学童保育、学校、その他の施設でのあらゆる児童生徒の居場所確保事業及び学校給食に代わる食事の提供事業に対する財政支援を行うとともに、児童生徒・保護者等のメンタルケアの支援を講じること。

また、学校給食中止の影響を受ける事業者や生産者に対する特別の支援策を講じること。

6. 各区市町村が実施する新型コロナウイルス感染症対策への財政支援を講ずること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

(提出先) 東京都知事



可決した決議

総合設計制度等の調査に関する決議

下記により総合設計制度及び地区計画制度に係る事項の調査に関する決議を提出します。

記

1 調査事項
本議会は、地方自治法第98条第1項及び同法第100条第1項に基づき、総合設計制度及び地区計画制度に係る事項について調査するものとする。

2 調査権限
本議会は、1に掲げる事項の調査を行うため、地方自治法第98条第1項及び同法第100条第1項の権限を企画総務委員会に委任する。

3 調査期限
企画総務委員会は、閉会中も調査できるものとし、1に掲げる調査が終了するまで、2に掲げる調査権限を有する。

4 調査経費
本調査に要する経費は、本年度においては、50万円以内、来年度においては、300万円以内とする。
以上、決議する。

※100条調査

地方自治法第100条では、議決機関として執行機関への監視機能を十分果たすことができるよう、議会に区の事務に関する強力な調査権を認めています。今回この権限が企画総務委員会に委任されました。

公式 Twitter で区議会の最新情報を！

 千代田区議会公式 Twitter では、区議会の情報や、HP の更新情報等をツイートしています。ぜひフォローをお願いします。

アカウント名: @Chiyoda_Kugikai (千代田区議会)
右の2次元コードを読み取るか、Twitter で「千代田区議会」と検索してください。



ちよだ区議会だよりをスマホで！

各自治体の広報紙やニュースが閲覧できる無料アプリ「マチイロ」で「ちよだ区議会だより」を配信しています。スマートフォンやタブレット等で、いつでも手軽にちよだ区議会だよりをお読みいただけます！ぜひ、下の2次元コードからダウンロードしてください。



委員会で取り扱った請願・陳情（令和元年12月25日～令和2年3月30日）※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

請 願 ・ 陳 情 名 (受付順に掲載)	送付委員会	審査状況 (令和2年3月30日現在)
辺野古新基地工事の即時中止と「日米地位協定」見直しを求める請願書	企画総務委員会	継続審査
(仮称) 四番町公共施設整備に関する陳情	企画総務委員会	継続審査
神田警察通りの街路樹の保存と環境保全を求める陳情	企画総務委員会	継続審査
神田警察通りの歴史と街路樹を守ることを求める陳情	企画総務委員会	継続審査
災害備蓄物資を上階へ移動し区民の安心安全を確保する陳情	企画総務委員会	継続審査
石川区長の高級マンション所有に関わる真相解明等を求める陳情	企画総務委員会	継続審査
千代田区へ第三者委員会の開催と再調査をお願いしたく陳情します	地域文教委員会	審査終了
女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の提出を求める陳情書	地域文教委員会	継続審査

12月～2月の主な活動

月／日	日 程	月／日	日 程
12/25	議会運営委員会	2 / 12	企画総務委員会
	企画総務委員会		地域文教委員会
	地域文教委員会		保健福祉委員会
1 / 16	景観・まちづくり特別委員会	13	〈令和2年第1回千代田区議会定例会告示日〉
24	議会運営委員会 (開会に至らず)		議会運営委員会
2 / 4	全員協議会	18	政務活動費交付額等審査会
		19	議会運営委員会

令和2年第1回定例区議会 会期日程〈会期:2/20～3/11までの21日間〉

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、次のとおり第1回定例区議会の会期を短縮しました。

【変更前】令和2年2月20日(木)～令和2年3月19日(木) 29日間 ★【変更後】令和2年2月20日(木)～令和2年3月11日(水) 21日間

月／日	本会議・委員会関係等日程	月／日	本会議・委員会関係等日程
2 / 20	議会運営委員会	3 / 4	予算特別委員会(分科会)
	本会議(会期の決定・区長招集あいさつ等)	5	予算特別委員会(分科会)
21	議会運営委員会	6	予算特別委員会
27	議会運営委員会	9	予算特別委員会
	本会議(代表質問・一般質問)		オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
28	議会運営委員会		景観・まちづくり特別委員会
	本会議(一般質問・議案の付託等)		災害時要配慮者等対策特別委員会
	予算特別委員会		文化財保存・活用特別委員会
3 / 2	企画総務委員会	10	議会運営委員会
	地域文教委員会		企画総務委員会
	保健福祉委員会		地域文教委員会
	議会運営委員会		保健福祉委員会
3	予算特別委員会	11	議会運営委員会
	議会運営委員会		
	本会議(議案の議決)		本会議(議案の議決)

区議会だより編集委員会の構成

- ◎委員長 ○副委員長
- ◎桜 井 た だ し (自民)

○河 合 良 郎 (自民)

小 野 なりこ (都ファ)

岩 佐 りょう子 (立憲)

長谷川 みえこ (紡ぐ会)

うがい 友 義 (自民)
- 西 岡 めぐみ (自民)

牛 尾 こうじろう(共産)

池 田 とものり(自民)

山 田 丈 夫 (自民)

米 田 かずや (公明)



議案の審議結果等（令和2年第1回定例区議会）														可…可決/否…否決/採…採択/不…不採択 ○…賛成/×…反対/欠…欠席/退…退席/除…除斥																		
議 員 名 等 ※議員名の下段は、会派名略称		出 席 者 数	投 票 数	賛 成	反 対	議 決 結 果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議 決 月 日
							小 野 なりこ 都 フ ア	岩 佐 りょう子 立 憲	長 谷 川 みえこ 紡 ぐ 会	小 枝 すみ子 至 誠 会	秋 谷 こうき 至 誠 会	岩 田 かずひと 立 民	小 林 たかや 自 民	う がい 友 義 自 民	西 岡 めぐみ 自 民	飯 島 和 子 共 産	牛 尾 こうじろう 共 産	木 村 正 明 共 産	池 田 とものり 自 民	山 田 丈 夫 自 民	永 田 壮 一 自 民	内 田 直 之 自 民	たかざわ 秀 行 自 民	はやお 恭 一 自 民	米 田 かずや 公 明	大 串 ひろやす 公 明	林 則 行 自 民	嶋 崎 秀 彦 自 民	河 合 良 郎 自 民	桜 井 た だ し 自 民	小 林 やすお 自 民	
議 案 名 等	議 員 提出議案	千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	25	24	6	18	否	×	×	○	○	×	○	議 長	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3/11	
		総合設計制度等の調査に関する決議	22	21	21	0	可	退	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		国民健康保険料の子どもに係る均等割保険料の軽減を求める意見書	25	24	7	17	否	×	○	○	○	×	○		×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3/11
		新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書(国あて)	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書(都あて)	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
区 長 提出議案		令和元年度千代田区一般会計補正予算第3号	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	は	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/3
		令和2年度千代田区一般会計予算	25	24	19	5	可	○	○	○	×	○	×		○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		令和2年度千代田区国民健康保険事業会計予算	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		令和2年度千代田区介護保険特別会計予算	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	採	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		令和2年度千代田区後期高齢者医療特別会計予算	25	24	21	3	可	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		千代田区職員等公益通報条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		千代田区監査委員条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		千代田区長の給与の特例に関する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2/20
		職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		千代田区手数料条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	に	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		千代田区印鑑条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		千代田区家庭的保育事業等の認可に係る設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		千代田区景観まちづくり条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	わ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		千代田区営住宅条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		千代田区立児童遊園条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		(仮称)四番町公共施設新築工事請負契約について	25	24	18	6	可	○	○	×	×	○	×	ま	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		(仮称)四番町公共施設新築電気設備工事請負契約について	25	24	18	6	可	○	○	×	×	○	×		○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		(仮称)四番町公共施設新築空調設備工事請負契約について	25	24	18	6	可	○	○	×	×	○	×	ん	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		(仮称)四番町公共施設新築給排水衛生設備工事請負契約について	25	24	18	6	可	○	○	×	×	○	×		○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		財産(建物)の取得について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	せ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	25	24	21	3	可	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		千代田区立高齢者総合サポートセンターの指定管理者の指定について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	ん	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
		お茶の水橋補修補強工事請負契約の一部変更について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/3
		千代田区行政監察員の選任の同意について(2件)	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/11
報 告	代官町通り歩道拡幅工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について																														2/28	

◆千代田区議会議員 条例定数25名 現員数25名
※ 会派名 千代田区議会 自由民主党(自民)／日本共産党区議団(共産)／公明党議員団(公明)／千代田を紡ぐ会(紡ぐ会)／ちよだの声(声)／立憲民主党 新生ちよだ(立民)／立憲政策フォーラム(立憲)／都民ファーストの会 千代田区議会(都ファ)／千代田至誠会(至誠会)